

## Language Policy

### 言語方針

#### Utsuho Academy Primary School

うつほの杜学園小学校

##### 1. 言語に関する方針

言語は、私たちが生きている世界にいろいろな形で関係しています。言語スキルの発達は、私たちの本能的なコミュニケーションの必要性の基本的な要素であり、個人の発達およびアイデンティティの維持のために不可欠です。言語は社会的に創造されるもので、人との交流や関係の構築の影響を受けます。社会に関係する過程で、個人の話し言葉と話し方、表現方法、考え方が一層発達します。また、社会の規範や通念を伝えることで、言語は社会に適応するための重要な力となり、人々との具体的な交流を形成します。言語はまた、私たちの文化的アイデンティティの証拠として思考を形成します。文化と言語は互いに独特な方法で関係し合っているため、世界を理解し交流する機会に影響を与えます。

うつほの杜学園小学校では、言語習得は子どもたちが将来生きるための重要な基盤であると考えています。この急速に変化する21世紀の世界では、自分を表現し、他者と共有しながらより良い未来を生きる必要があります。そのために、小学校の6年間で、語学コミュニケーション能力として、第一言語の日本語を習得する学習プログラムを、またグローバルコミュニケーションツールとして、第二言語として英語を習得するプログラムを設定し、その進展を学習の中心に据えています。

そのため、うつほの杜学園小学校のスタッフは皆、すべての教師が言語教師であることを認識しています。

##### 2. 言語プロフィール

うつほの杜学園小学校の生徒の大半は日本語を母語として話しますが、第一言語の日本語であっても児童への個別対応の必要性を常に意識して対応する必要があります。また多くの授業で英語を利用し、バイリンガル教育に力を注ぎます。そのため、児童一人ひとりに関する言語プロフィールを作成し、保有します。

###### 2.1. 母語指導

うつほの杜学園熊野小学校では、探究授業・国語などいくつかの科目およびホームルームを除き英語でも指導を行います。それとともに、児童の母語を守ることの重要性を理解しても

らいます。児童自身のアイデンティティを強化し、自らの文化を大切にすることができるため、自らの母語の言語スキルを維持・向上することを奨励します。教科担任は、外国語教師と協力して、指導方法が適切であることを保証し、学習を促進させるための適切な支援を行います。教師は日々の授業や学校活動で文化や言語を重視する機会を模索することも期待されています。また、日本語と英語の到達状況については、相互に教員が情報共有し、言語プロフィールの更新を行います。

## 2.2. 言語指導の経過記録簿

英語と日本語の両方で言語学習を支援するため、外国語教員は、学期毎に児童の習熟度を両言語で記録し、職員室に置き、他の教員が言語学習プロセスの進捗を理解できるようにします。

## 2.3 すべての教師は言語教師である

重要な原則は、すべての科目の学習を通じて言語を習得することです。よって、すべての教員は、すべての児童が教科を勉強しながら言語を習得することができるように、学習プロセスを形作らなければなりません。すべての教師は、児童が教材やシラバスの言葉を自然と身につけることができるように、その方法を検討します。

\*この文書は、変更の必要が生じる等の特別な場合を除き、二年ごとに理事・教職員が中心となって見直しを行う。

2024/09/27